

やましんかわら版は
山新販売店と読者をつなぐ
ミニコミ紙です

やましんかわら版

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため6月12日(月)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



かわら版編集部

〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
(ホームページ) <http://www.yamashinhanbai.jp/>
(メール) kawaraban@yamashinhanbai.jp
読者お問い合わせ窓口
TEL.023-635-6111 (山新販売内)



深海から引き上げられたカニを、船上で選別。写真で確認できるケース全てが、紅ずわいがににて埋め尽くされます。

今月の
いちばん
情報!!

紅ずわいがにで加茂港を興す! 県内唯一の籠漁船「協和丸」

『協和丸(111ト)』は、県内唯一の紅ずわいがに籠漁船。この船は、加茂港沖合約30~60m、水深800~2000mほどの海域で、紅ずわいがにを漁獲しています。4月から翌1月までに430トほど水揚げし、日本全国の食卓へ県産紅ずわいがにを届けているのです。運営会社である株式会社協和丸の長谷川清雄代表に、船上で繰り広げられるカニ籠漁の様子、また紅ずわいがにの魅力について伺ってきました。

Q、どんな漁を行っているのですか。

▶朝5時に出航し、加茂港から大海原を進むこと実に5、6時間。目指す海域の深海には、豊かなカニの漁場が広がっています。そこで私たちは、水深800m以深の場所に仕掛けた直径約1mの籠を引き上げる籠漁を行っています。季節や潮目によって、網籠を仕掛けるポイントは変わります。大漁の時は、船上は文字通り戦場と化すのです。

漁の方法の一つに底引き網漁というものがありますが、私たちは籠漁にこだわっています。それは、生態系、そして資源保護の観点からであり、おいしい紅ずわいがにを長期的に漁獲するために、いくつかのルールを定めています。

Q、そのルールとは一体?

▶第1に、子ガニを獲らないこと。そのために、15センチ間隔のゆったりとした網籠を使用しています。それにより、まだ成長していないカニは、自然と網籠から抜け落ちていきます。そして、次は雌ガニを決して獲らないこと。繁殖の要である雌ガニは、私たちの財産。船上で全て選別し、雌ガニは海へと戻します。そして最後に休漁期間を設けること。一般的なイメージでは、カニの旬は冬ではないでしょうか?しかし、紅ずわいがには水温が一定の深海に住んでいます。言わば、どの季節も旬であり、おいしい。また、2月と3月は漁を休むことで、繁殖を促すことができます。いくら豊かな漁場があったとしても、獲り尽くしてはだめ。ともに生きているということを忘れずに、漁に挑むのです。

Q、籠漁で捕るのは成長した雄ばかりという事ですか。おいしそうです。

▶おいしいですよ。一般的には大きな漁船で漁をします。その場合、船が満杯になり港に戻れるまでには1週間ほどかかります。逆に私たちの船は111トと小さいので、2泊3日の漁となります。つまり、鮮度が格段に違ってきます。また、甲殻類の

保存法も熟知しているので、新鮮なままのカニを港まで運ぶことができるのです。さらに、釜ゆでするまでは水揚げから30分ほどしかかかりません。店頭でも販売していますので、加茂港の名物として、皆さんに味わっていただきたいですね。

Q、事業も安定しているのですか。

▶それは少し違います。2009年より(株)協和丸として営業していますが、私たちの創業は、必要に迫られてのものでした。以前は別会社が水産業を営んでいましたが、その会社が急に休業して全員解雇。その時、残された社員たちを見渡せば、これから家族を養っていかねばならないような若者ばかりだったのです。仕事が無くては、彼らの未来を無くしてしまう。加茂の漁業を無くしてしまう。そこで、全社員で協力し合って会社を立ち上げました。経営が安定するまで、何度となく困難に立ち向かいました。今、我々が紅ずわいがにに漁を続けていられるのは、関わってくださった皆さんのお陰なのです。だからこそ、生半可な仕事はできません。恩返しではありませんが、今後もおいしい紅ずわいがにを提供するべく、社員一丸となって頑張っていきたいと思っております。



左/釜ゆでは、加茂港への水揚げ後30分ほどの間に行われます。これが、どこにも負けない鮮度の秘密。
中/ゆでたての紅ずわいがにを手に、笑顔の長谷川清雄代表。時間さえええれば、皆さんにも浜ゆで直後のカニを味わう機会が。
右/加茂港の真ん中にある社屋では、直接カニを購入することができます。この機会に、県産紅ずわいがにのおいしさを、味わってください。



紅ずわいがに
(5,000円相当)を
3名様にプレゼント!

※締め切り/6月15日(当日消印有効)
※海の状態で発送は前後します。
※中記載の応募のご案内をご確認ください。

株式会社 協和丸
電話/0235-33-3835
住所/鶴岡市加茂字加茂77-1